

| 第9回 草津市総合計画策定委員会 幹事会 | |
|----------------------|--------------|
| 開催日 | 令和元年9月17日(火) |

(1) 社会情勢の変化について

| 主な意見等 |
|---|
| <p>・「全国的な状況」の語尾が「必要となっている」という表現があるので、「草津市の状況と課題」と同様に「全国的な状況と課題」としてはどうか。</p> <p>⇒社会情勢の変化への対応についての冒頭に説明書きを追記し、「全国的な状況と課題」と「草津市の状況と課題」は「全国」と「草津市」に修正しました。</p> <p>・「人口減少社会への対応と地方創生の深化に向けて」に記載されている「2025年問題」について、2025年は第6次草津市総合計画期間中にすぐ到来するため、2025年問題と同様に問題視されている「2040年問題」を記載する方が適切ではないか。</p> <p>⇒「2040年問題」を追記しました。</p> <p>・「地域共生社会の実現に向けて」の「全国的な状況」には「我が事」と「丸ごと」の双方が記載されているが、「草津市の状況と課題」には「我が事」しか記載されていないため「丸ごと」についても記載いただきたい。</p> <p>・「草津市の状況と課題」について、地域包括ケアシステムそのものを深化させることは確定事項ではないため、地域包括ケアシステムの「考え方」の記載を残していただきたい。</p> <p>⇒御指摘を踏まえ修正しました。</p> <p>・「良好な環境の保全に向けて」では、公園などで緑を充実させることによる良好な住環境の保全を想起してしまうため、「地球環境の保全に向けて」などの表現にしてはどうか。</p> <p>⇒「地球環境の保全に向けて」に修正しました。</p> <p>・「良好な環境の保全に向けて」について、エネルギー政策見直しの契機は東日本大震災ではなく、それに伴う原発事故ではないか。</p> <p>⇒国の資料においても「東日本大震災を契機にエネルギー政策を見直し」という表現が用いられていますので、原案のとおりとしました。</p> <p>・「Society5.0」と「SDGs」に関する内容を最後に記載してあるが、付け足した感が拭えない。大きいトピックから順番に記載することが一般的だと思われる。</p> |

(2) 将来ビジョンについて

主な意見等

・資料1-2について、社会情勢の変化への対応を踏まえ、課題についても記載にする必要があるのでは。

⇒社会情勢の変化への対応を踏まえ、課題を追記しました。

・視点2の「市のもつ強み」の表現を分かりやすくできないか。

⇒本市のもつ強みは、各分野においてそれぞれの強みがあり、その強みが生かされることで「人口増加」や「住みやすさ」に繋がっていると考えていることから、一括りで記載するのは難しいため、原案のとおりとしました。

・視点1「“誇りや愛着“の醸成」、視点3「人と人のつながりや思いやりの醸成」、視点4「ネットワーク性の高いさらに暮らしやすいまちづくり」は同じことを書いているため統合して良いのでは。

⇒視点1は愛着、視点2は人と人とのつながり、視点4はまちのつながり（コンパクトプラスネットワーク）を想定しており、各視点で内容を分けておりますので、原案のとおりとしました。

・「将来のまちの構造 ③まちの拠点」の「学術・交流拠点」について、「産学官連携」と「草津JC、草津田上JCT」が並列に記載されていることに違和感がある。「産学官連携」は「大学、企業との連携」などにしたほうがわかりやすいのではないか。

⇒御指摘を踏まえ修正しました。

(3) まちづくりの基本理念について

主な意見等

・「学び・文化（仮）」内の文で「男女がともに」とあるが、LGBTにも配慮した表現に修正できないか。

⇒「誰もが」に修正しました

・行数が統一されておらず2、3行程度に修正ができないか検討のこと。

⇒御指摘を踏まえ修正しました。

・「子ども子育て・若者」の文章中に草津市子ども・若者計画のフレーズを盛り込む予定であり、それまでは仮置きである。10月から中間協議として庁議（10月7日の総括副部長会議）などに諮るので、中間協議を終えた段階で修正をかける可能性がある。